

申請書・報告書の 合理化・簡素化・共通化



科学を支え、未来へつなぐ

科学技術振興機構

Japan Science and Technology Agency

基本方針

- JSTとして統一化した「評価項目」を設定し、これに合わせた「評価基準」「共通様式」を用います。

対象： 研究提案書

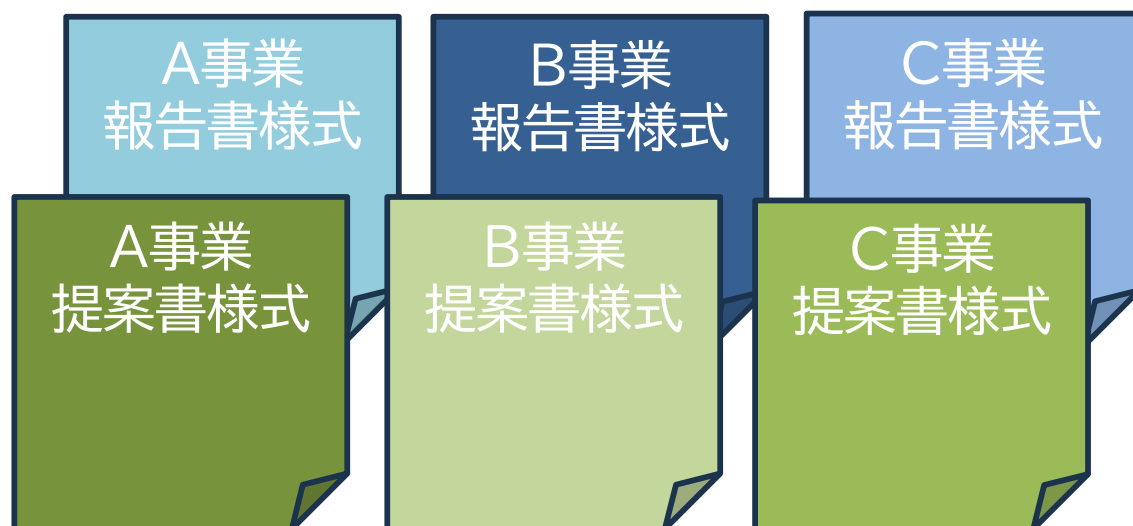
公開用年次報告書

中間／事後評価用報告書

- JSTにおける評価の観点をより明確に伝えるとともに、事業間での差異や不統一により生じていた提案者および評価者の負担の軽減を狙います。
- 研究者個人が提案・推進する各事業において、準備が整い次第順次、新様式を導入します。

提案書・報告書の共通化

見直し前



- 事業ごとに評価項目、記載項目、記載順はバラエティに富む
- 応募・評価の度に、事業にあわせて評価項目や様式の構成の整理が必要

見直し後



- 事業に依らず評価項目、記載項目、記載順を統一
- 応募・評価の際に、評価項目や様式の構成の整理が不要

提案書評価項目の共通化

評価項目等の構成：

評価項目	標準的な評価基準	提案書様式
目的・趣旨	事業等の趣旨に合致し、事業等が目指す成果の創出が期待されること。	研究構想
独創性・優位性	国内外の動向等を踏まえ、提案内容が独創性・優位性を有していること。	独創性・優位性
目標・計画	実施期間内に達成する目標、実施計画及び予算計画が具体的かつ適切であること。	目標・実施計画／ 予算計画
実施体制	提案内容の遂行に最適な実施体制を構築していること。	実施体制
遂行能力	提案内容の遂行に必要な活動実績及び責任能力を有していること。	研究・活動実績

各事業における最新の募集要項、様式等を必ずご確認ください。

提案書の簡素化・共通化

見直し後

- 小項目の設定は最小限とし、提案者の着想に基づく、自由な記載が可能な様式に変更
- 様式と評価項目を対応させ、評価の負担を軽減。

CRESTの例

様式	様式項目	評価項目
様式1	基本事項	-
様式2	研究構想	目的・趣旨
様式3	提案の独創性・優位性	独創性・優位性
様式4-1	目標・実施計画	目標・計画
様式4-2	予算計画	
様式5	実施体制	実施体制
様式6	研究・活動実績	遂行能力
様式7	他制度での助成状況	-
様式8	特記事項	-



見直し前

- 小項目として記載ぶりを細かく指定することが多い。
- 評価項目と様式が1対1で対応していない。

様式	様式項目	評価項目※
様式1	基本情報	-
様式2	研究提案の要旨	A. B.
様式3-1	研究構想 1.研究の背景・目的 2.研究機関の達成目標 3.研究計画とその進め方 4.国内外の類似研究との比較および研究の独創性・新規性 5.研究実施の基盤および準備状況 6.研究の将来展望	C-1. C-2. A. B. B. C-2. B. D-3 A. B.
様式3-2	研究体制及びスケジュール	D-2. C-2.
様式4	研究体制	D-2
様式5	研究費計画	C-3
様式6	研究実績	D-1
様式7	他制度での助成状況	-
様式8	特記事項	-
別紙	確認シート	-

※見直し前の評価項目は便宜上、記号で示しています。

報告書評価項目の共通化

評価項目等の構成（中間／事後評価用）：

評価項目	評価基準	報告書様式
—	—	概要
目的・目標の達成状況	・代表的な成果 ・その他の取組み・成果、など	目的・目標の達成状況
今後の計画および展望	・実施期間中の計画・展望 ・企業への技術移転、など	今後の計画および展望
計画・実施体制等の妥当性	・研究実施体制、 ・研究費執行状況、など	計画・実施体制等の妥当性

報告書作成にあたっては各事業の課題担当者からの案内を必ずご確認ください。

報告書の簡素化・共通化

見直し後

- 記載ページ数の制限を設け、真に課題評価に必要な報告に絞ることで、研究者、評価者の負担を最小限とするよう配慮。
全体:10ページ以内、公開部分:1ページ以内
- 評価項目ごとに対応させた様式とすることにより、評価者の負担を軽減。

CRESTの例

項目番号	項目名	評価項目
1-1	研究および計画の概要	(公開用) 1ページ以内
1-2	成果の概要	
2	目的・目標の達成状況	目的・目標の達成状況
3	今後の計画および展望	今後の計画および展望
4	計画・実施体制の妥当性	計画・実施体制の妥当性

見直し前

- 記載ページ数の制限がなく、事業、課題の規模等によって様々。
全体:数十ページの報告を求めることもある
- 事業によってほぼ同様式の公開版/非公開版報告書の提出を求める。

項目番号	項目名	評価項目
1	研究構想	
2(1)	実施概要	
2(2)	顕著な成果 <優れた基礎研究としての成果> <科学技術イノベーションに大きく寄与する成果> <代表的な論文> <代表的な招待講演> <代表的な特許> <成果展開事例>	
2(3)	達成状況	
2(4)	研究実施体制	
2(5)	研究実施内容及び成果	
2(6)	研究の今後の展開について	
2(7)	若手研究者の育成・キャリアパス支援	



科学技術創造立国『再興』へ それぞれが できることから取り組もう



科学を支え、未来へつなぐ

科学技術振興機構

Japan Science and Technology Agency